

ステンレス焚き火台 取扱い説明書

-屋外使用専用 Outdoor use only-

このたびは、「ステンレス焚き火台」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、ご使用のまえによくお読みいただき大切に保管してください。商品には万全を期しておりますが、ご使用前に付属品、および使用方法の確認をして安全な場所で組み立ててください。説明内容にご不明な点がある場合、また商品に不具合が生じた場合には、直ちに使用を中止し、Circle h コールセンターまでお問い合わせください。

※当商品を本来の用途と異なる使用をされた場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

※商品を貸与、または譲られる場合、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

◆各部品の名称と付属品

- ① 焚き火台本体（上） × 1
- ② 焚き火台本体（下） × 1
- ③ 灰受けプレート × 1
- ④ ロストル × 1
- ⑤ フタ × 1
- ⑥ 六角穴付きボルト × 1
- ⑦ 手回し蝶ナット × 1

※材質はすべてステンレス製



◆ご使用にあたり

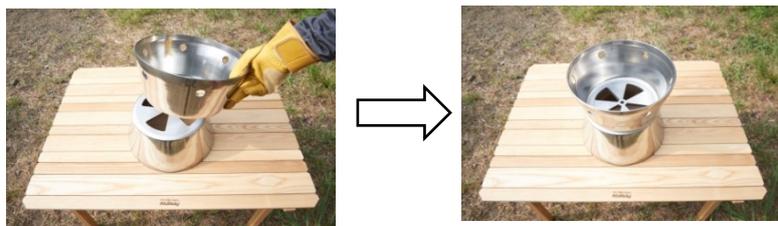
- ・火の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・焚き火が規制、禁止された場所でのご使用は絶対におやめください。
- ・屋内や車内、テント内またはタープの下では使用しないでください。
- ・必ず、灰受けプレートの上に焚き火台を置いてご使用ください。
- ・灰受けプレートに落ちるモノは、薪や炭が燃え尽きた灰が中心となりますが、ご使用方法によっては燃えている大きな薪や炭も落ちてプレートを通じた熱により地面が燃えてしまいます。
- ・通常、通風口は 1/3 開いていれば十分に薪や炭が燃えます。
- ・ご使用中は焚き火台から離れないでください。
- ・焚き火台を芝生の上などに置くと温度で芝生の色が変わる可能性があります。置き場所などは十分考慮してお使いください。
- ・組み立ては説明書をよく読んで正しくおこなってください。組み立てが不十分だと転倒する恐れがあります。
- ・着火後に焚き火台を移動することはおやめください。
- ・使用中の焚き火台は素手では触らず、必ず革手袋などを着用し、やけどなどのケガに十分ご注意ください。
- ・着火後は、灰や火の粉などが飛ぶ場合があるので、顔を近づけたりしないでください。また、燃えやすいものを焚き火台の周りに置かないでください。
- ・燃料の入れすぎには十分に注意してください。炎が高く上がり非常に危険です。
- ・お子様やペットを焚き火台の周りで遊ばせないでください。
- ・ご使用后、灰の処理や撤収作業は完全に燃え尽きて焚き火台や灰受け皿の熱が十分に冷えたことを確認してから行ってください。
- ・ご使用中、ご使用直後は本体が大変熱くなっており、やけどや火災の恐れがありますのでご注意ください。
- ・重量のある製品です。落下など取扱には十分注意してください。

◆お手入れ・保管について

本製品は、ステンレス製なので錆びてしまうという心配はありません。タワシでゴシゴシ洗っても大丈夫ですが、傷つきが不安な場合は、スポンジなどの柔らかいもので洗い、よく乾燥させてから収納してください。

ナイフなどの鋭利なモノでこすったりすると傷つく恐れがありますので避けてください。

◆組み立て方 ※必ず革手袋等を着用してケガ、やけどをされないようご注意ください



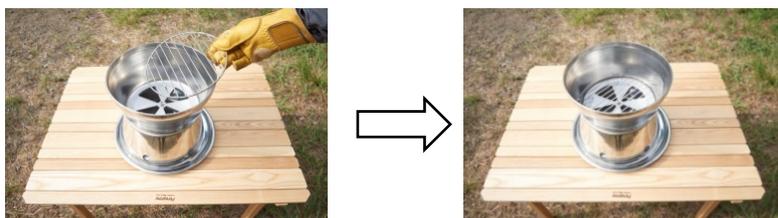
平らなところで、焚き火台本体（下）を、図のように上に重ねます（この時点では、本体上下は逆で良いです）



図のように、ボルトを下から中心穴に通し、上からナットで軽くしめます。きつく締めると熱膨張により本体上下の回転ができなくなる可能性があります。



焚き火台の上下を反転させます

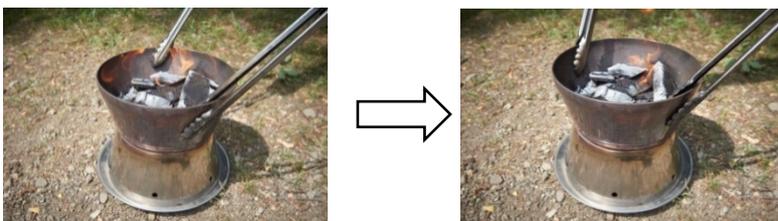


ロストルを本体（上）の中に落とし込みます

◆火の消し方（イメージ）



まず、本体（上）を回転させることで、下からの空気を止め、火の燃焼効率を下げます



革手袋を着用し、このようにトング等を使って、本体（上）を回転させます



フタをします。この際、指を挟まないよう注意してください